

2026年3月期第2四半期（中間期） 決算トピックス

2025年11月14日（金）



1. 単体決算の概況

(単位：百万円)

	2025年度中間期	2024年度中間期比
業務粗利益	3,077	231
資金利益	3,003	68
うち貸出金利息	3,021	478
うち有価証券利息配当金	676	37
うち預金利息	771	489
役務取引等利益	61	△ 165
うち役務取引等収益	572	△ 120
うち役務取引等費用	511	46
その他業務利益	12	327
うちその他業務収益	17	15
うちその他業務費用	5	△ 313
経費（除く臨時処理分）	2,778	493
人件費	1,069	65
物件費	1,512	405
税金	196	24
業務純益（一般貸倒引当金繰入前）	298	△ 262
一般貸倒引当金繰入額①	—	7
コア業務純益（除く投資信託解約損益）	300	△ 576
業務純益	298	△ 269
債券関係損益	△ 2	313
うち国債等債券売却益	2	0
うち国債等債券売却損	0	△ 318
うち国債等債券償却	4	4
臨時損益	34	8
株式等関係損益	—	—
不良債権処理損失②	16	△ 31
個別貸倒引当金純繰入額	—	△ 11
うちその他	16	△ 20
貸倒引当金戻入益③	3	3
償却債権取立益	0	△ 20
その他臨時損益	47	△ 6
経常利益	332	△ 261
特別損益	16	16
うち固定資産処分損益	16	16
税引前中間純利益	348	△ 245
法人税、住民税及び事業税	54	△ 19
法人税等調整額	△ 8	△ 29
中間純利益	302	△ 196
信用コスト（①＋②－③）	13	△ 27

- ✓ 新中計に基づき、お客さまのもとに足繁く通う「フェイス・トゥ・フェイス」の質の向上を進める中で、金利引上交渉も含め**お取引先との丁寧な対話を通じて、適正な貸出金利を確保**
- ✓ 預金金利の上昇に伴う**預金利息の増加分を、貸出金利の増加分でカバーし、有価証券利息配当金等を含めた資金利益全体では増益を確保**

- ✓ コア業務純益は、当初想定通り、経費増加を主因に前年同期比減少
- ✓ 経費増加の主因は、**人的資本投資**【ベースアップに伴う人件費＋40M程度】、と**DX投資**【次世代バンキングシステムへの移行に伴うシステムコスト＋400M程度】
- ✓ いずれも**将来を見据えた前向きな投資**によるもの

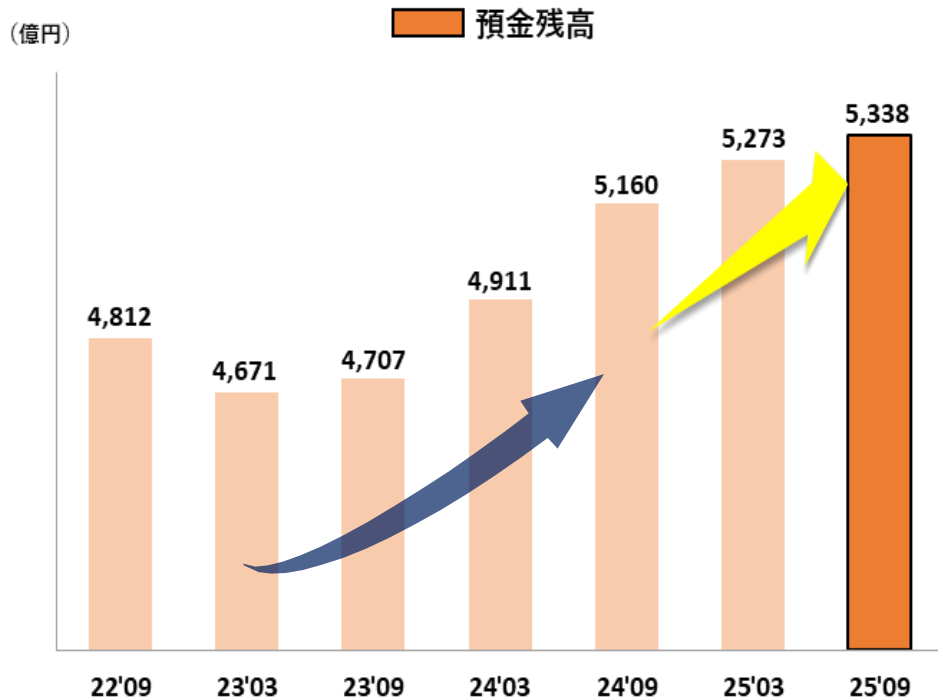
- ✓ **有価証券のロスカット**は、今後の海外金利の見通し等を踏まえた検討の結果、**当中間期では見送りが妥当**と判断
- ✓ この結果、国債等債券売却損が減少し、**債券関係損益が前年同期比大きく改善**

- ✓ このロスカットの見送りを主因に、**当初業績予想（経常利益190M、中間純利益160M）を上回る利益を確保**
- ✓ ただし、通期の業績予想では、有価証券のロスカット実施や信用コストの発生等を織り込み、**当初予想を据え置いている**

2. 預金の状況

➤しまホ！の好調な推移等を背景に預金残高が増加し、引き続きピークを更新！

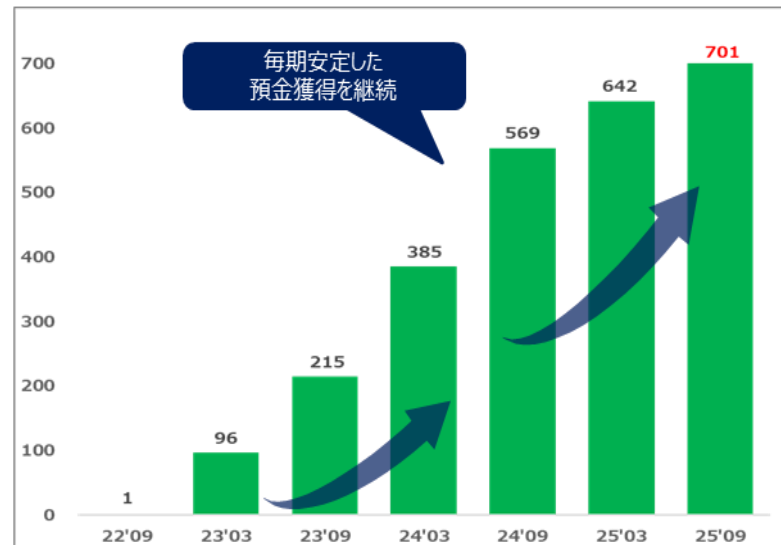
- 2025/9末時点の**預金残高は5,338億円**(24'09比+178億円、25'03比+65億円)、このうちスマートフォン支店「しまホ！」の残高は**701億円**(24'09比+132億円、25'03比+59億円)となり、いずれも24'09比、25'03比で増加。
- 預金獲得競争の激化等、厳しい環境下でも「しまホ！」の残高は増加し、**過去最高となる700億円を突破**。「しまホ！」の特徴でもある好金利が全国の顧客に選好されているほか、次世代バンキングシステムへの移行に伴い**しまぎんアプリが24時間対応**するなど顧客利便性が向上する中で、SBI証券のリアルタイム入金の利用も着実に増加するなど、**資産運用に備えた資金としての利用も増加**。



しまホ！では魅力的なサービスを提供

しまホ！預金残高推移

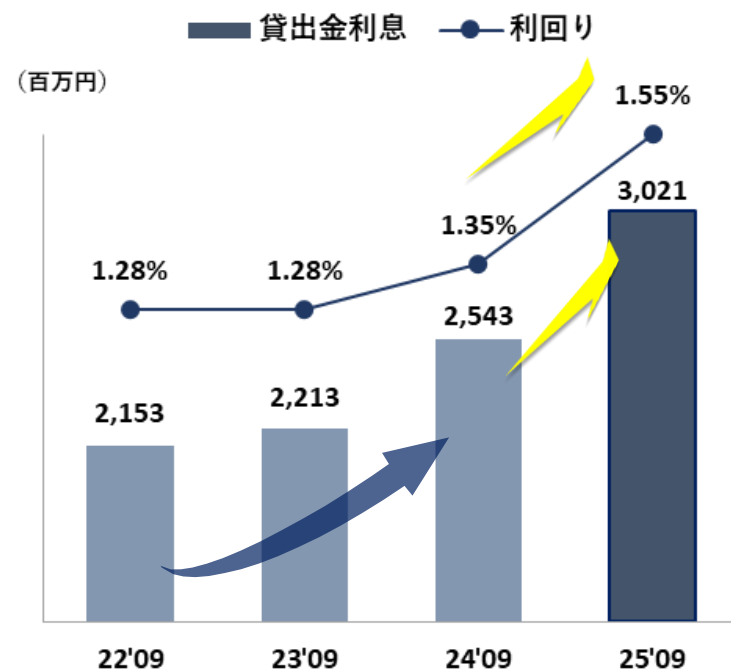
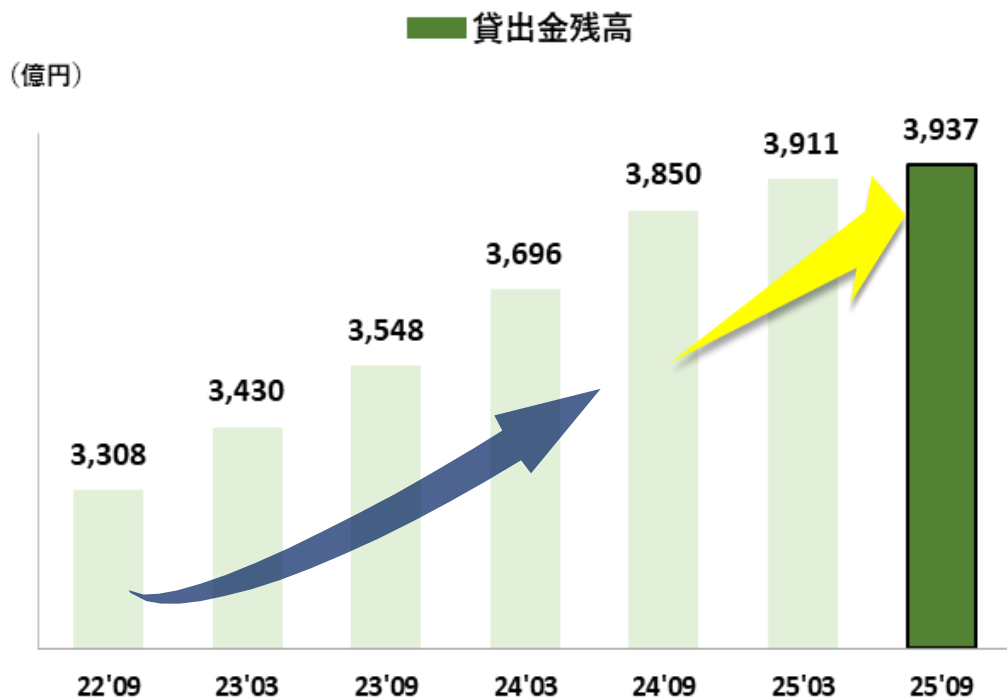
(単位：億円)



3. 貸出金の状況

➤ 好調な預金獲得を背景に、貸出金残高も引き続きピークを更新し、利回りも上昇！

- 2025/9末時点の貸出金残高は3,937億円(24'09比+86億円、25'03比+25億円)、2025/9期の貸出金利回りは1.55%(24'09比+0.20P)となり、残高増加と利回り上昇から、貸出金利息は24'09比+478百万円の3,021百万円となった。
- 貸出金利回りの上昇は、政策金利の引き上げに伴う貸出金利の引き上げに対するお取引先との丁寧な対話を通じて、適正な貸出金利を確保出来た結果であると認識。また、SBIグループとの連携の中で地元以外の貸出も増加し、貸出金残高は引き続きピークを更新。
- 金利上昇に不安を感じる地元事業者様に対しては、安心して資金調達をしていただけるよう、あえて固定金利型の商品の販売も推進するなど、地元事業者様に寄り添った支援を実施。

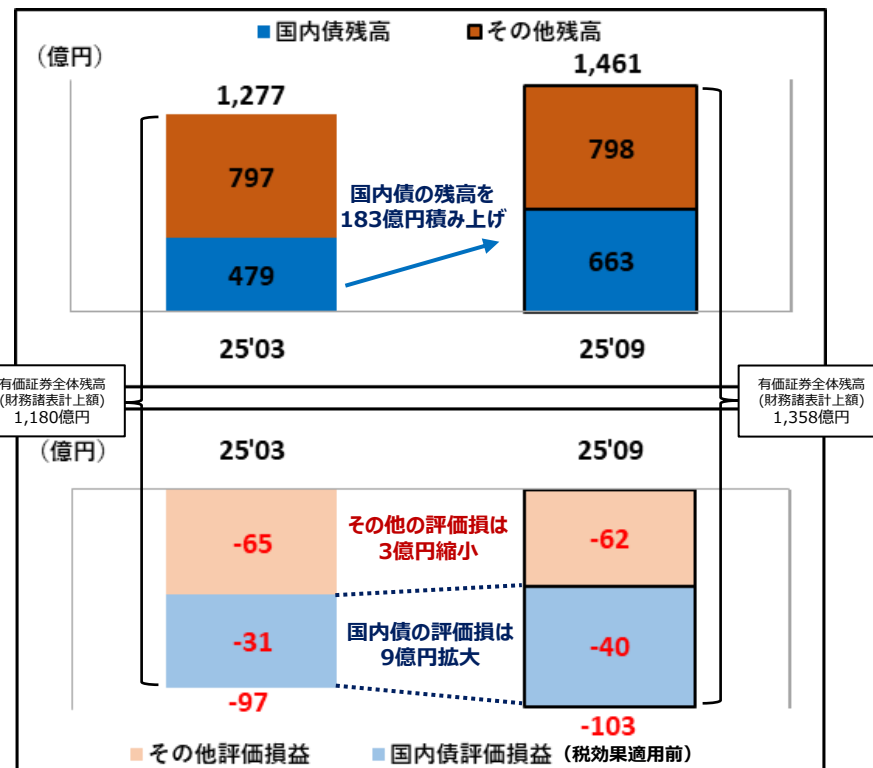
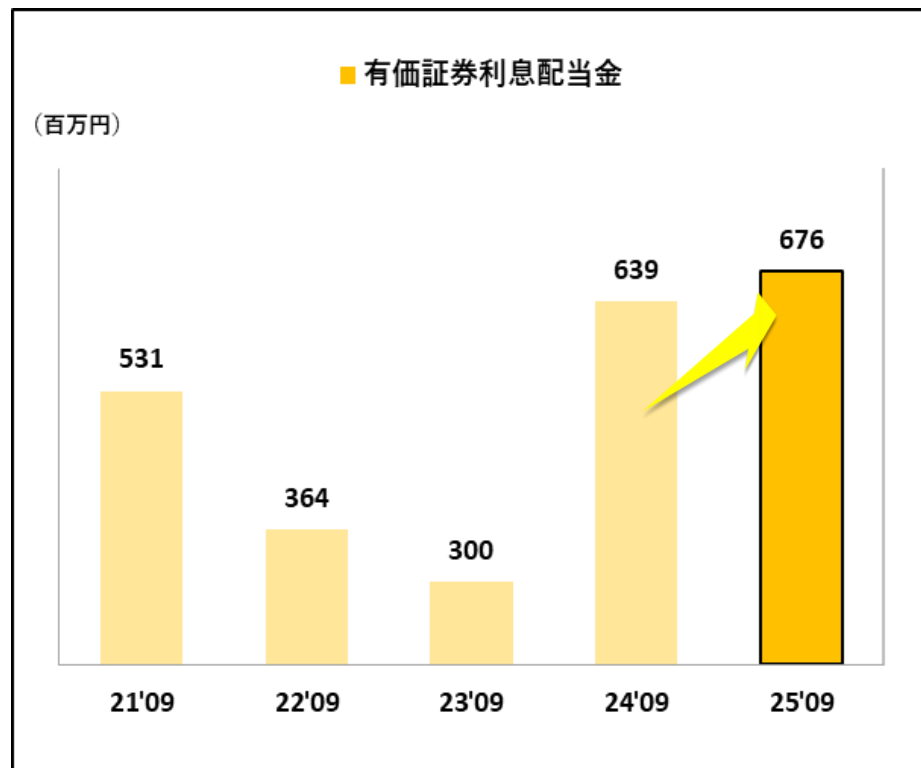


4. 有価証券の状況

➤ 国内債への投資拡大により有価証券利息配当金は増加も、引き続き評価損の解消が課題

- 好調な預金獲得を背景に金利上昇基調の国内債への投資を拡大したことで、2025/9末時点の**有価証券残高(簿価ベース)**は**1,461億円(24'09比+158億円、25'03比+183億円)**、2025/9期の**有価証券利息配当金**は**676百万円(24'09比+37百万円)**となった。
- 日本銀行による追加利上げ観測の高まり等を背景とした国内金利の更なる上昇により、国債中心に保有している**国内債の評価損は25'03比9億円拡大**したが、国内債の評価損は**基本的には時間経過とともに縮小**※していくため、今後も引き続き国内債を時間分散で購入していき、収益性を一段と高めていくとともに、経営の最重要課題である**「有価証券全体の評価損解消」**を目指していく。

※債券は償還日になると額面（評価損益が0の状態）で資金が返ってくるため、償還日が近付くにつれ評価損益も0に近付いていく。そのため、国内債が現在評価損を抱えている状態であれば、基本的には時間経過とともに評価損は縮小していく



5. ふるさと山陰活性化プロジェクト！

基本方針

- お客さまのもとに足繁く通う**フェイス・トゥ・フェイスの質**（課題把握や夢の共有・支援等）を**組織全体で向上**させていく
- その実現に向け、**従業員**一人ひとりが**自らの存在意義を実感し、高い満足度を得る**ことができる**職場環境を整備**する

戦略ドメイン

財務の健全化

- 本計画期間中においては
 - ✓ **DX投資**（次世代バンキングシステムへの移行）
⇒「事務の効率化・省力化」、「人員の再配置」、「営業体制の効率化」
⇒ お客さまのために考える時間を創出
⇒ 営業力を強化
 - ✓ **有価証券の再投資による利回改善**
 - ✓ 好調な預金調達を背景に、**B/Sの規模を10%程度拡大**させる
⇒ 計画最終年度の**2028年3月期のコア業務純益は現行水準の1.5倍**を目指す
 - ✓ 経営の最重要課題である「**有価証券評価損の解消**」を目指す
⇒ **当期純利益は現行水準の確保**を目指す
- **ALM・リスク管理を強化した上で、信用力が高い国内債を中心に運用することで、必要な収益を確保しつつ、自己資本比率の維持を目指す**

相乗効果

お客さまとの共通価値創造 (ローカルエンゲージメント)

- **お客さまとの共通価値を創造**していくためには、お客さまの夢や課題を共有し、夢の実現や課題解決に向けた取り組みが必要
- 前中計で組織的に定着した「**オープンイノベーションバンクしまぎん**」戦略の下での様々な分野・業態との連携や、「**小さく纏まりのある組織**」の強みを活かし、様々な知恵を使って支援していく取組を組織的に推進していくとともに、その取組方針をお客さまにコミットする
- この取組を通じ、**貸出金ポートフォリオの再構築や利回りの向上**を図るとともに、**役務収益の増高**（事業の引継ぎなどの地域課題の解決に注力）を目指していく
- また、**役員や従業員の方々との取引深耕**も含め、**総合収益を追求**するとともに、**地元での粘着性の高い法人・個人預金の調達を進めていく**

5-1. 「財務の健全化」に向けた取組について

- 次世代バンキングシステムへの移行は**本年7月に完了**、現在**安定稼働中**。
- お客さまの**夢の実現・課題の解決**に向けた**共通価値の創造**は、当行が**目指す営業の姿**。
- これを強化し、財務の健全化を図るため、次世代バンキングシステムを活用した「**事務の効率化・省力化**」、「**人員の再配置**」、「**営業体制の効率化**」に、**全行を挙げて鋭意取組中**。お客さまのために考える時間の創出に繋げていく。

企業にとってデジタル技術を活用した業務の
変革（DX）が地域活性化のエンジンとなる!!

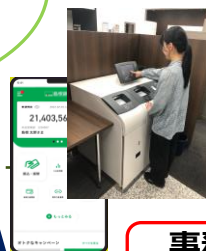
当行がデジタルシフトを率先

事業を営む
お客さまの
DX支援

しまぎん
アプリ
リニューアル

スマート
フォン
支店
開設

次世代
バンキング
システム
への移行



事務の効率化
・省力化

人員の再配置

営業体制の効率化

もっと促進!!
お客さまの
ために考える
時間の創出

（営業の強化）

お客さまの
夢・課題
の共有
↓
実現・解決
に向けた
共通価値
の創造

財務の
健全化

25'04

中期経営計画「ふるさと山陰活性化プロジェクト！」

28'03

25'07
実現

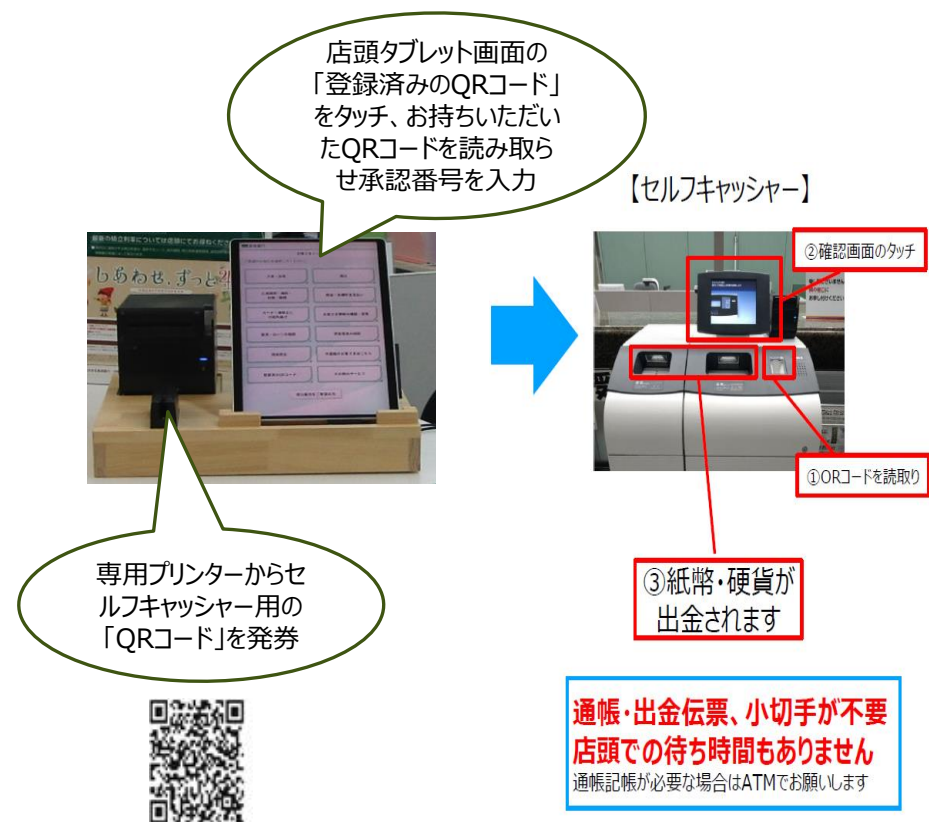
全行を挙げて
鋭意取組中！

しまぎんインターネットバンキング（法人）をリニューアル！

- 次世代バンキングシステムへの移行にあわせて、**しまぎんインターネットバンキング（法人）のリニューアルを実施！**
- 新機能の出金申請サービスでは、インターネットバンキングで事前に出金内容を申請。発行されたQRコードを持参し、店頭タブレットに読み取らせることで、**タブレットの操作を省略。通帳不要で窓口を介さずにセルフキャッシャーでの出金が可能に。**
- リアルタイム化により当日の総合振込も可能となるなど、**機能面での利便性が向上。**
- 現在、**新規申込のお客さまの契約料や手数料が無料となるキャンペーンを実施中！**

【 新機能の一例：出金申請 】

【 サービス、プラン 】



	サービス名	プラン①	プラン②	プラン③	プラン④
照会サービス	残高照会	○	○	○	○
	入出金明細照会	○	○	○	○
	出金申請	○	○	○	○
振込・でんさいサービス	振込・振替	○	○		
	定額自動振込	○	○		
	でんさい	○	○	○	
	税金払込	○	○	○	
一括伝送サービス	総合振込	○		○	
	給与振込	○		○	
	口座振替	○		○	
	基本契約料 (月額)	3,300円	1,100円	550円	無料

現在キャンペーン中により、新規申込で条件を満たすとお申込みから6ヵ月間の手数料が無料に！

5-2. 「お客さまとの共通価値創造」に向けた取組について

- 当行は、地域課題である「産業の新陳代謝」問題の解消に向け、**起業家の応援を通じて地域活性化を目指す試み「地域クラウド交流会」**（通称「ちいクラ」、**全国で200回超開催**）を、2023年度より松江市で4回の開催してきたが、その実績が評価され、**本年8月に全国グランプリ大会を開催**。
- 全国から選別された総勢12名の企業家が集まり、松江市長などの前で、熱くビジネスモデルをプレゼン。グランプリは、松江代表の（株）ストラテジーAIの中尾氏が受賞。

主 催：島根銀行

共 催：MATSUE起業エコシステムコンソーシアム

特別協賛：サイボウズ

協 賛：27社

（山陰中央新報、山陰中央TV、さんびるHD、NBC、島根電工、なにわ旅館、HA-RU、ジャックス広島、TAG、八束電工、あいおいニッセイ同和、グリーン不動産、コアガス島根、山陰クボタ、山広、さんれいフーズ、ジェットシステム、高浜印刷、TSK情報システム、TSK農縁、テクノプロジェクト、東京印刷、ひらぎの、豊洋、松江栄養調理製菓専門学校、ミック、リアルトラスト山陰）

協 力：中国経済産業局

後 援：島根県、松江市、松江商工会議所、公益社団法人 松江青年会議所、
島根県信用保証協会、しまね産業振興財団、島根県よろず支援拠点、
島根県事業継承・引継ぎ支援センター、日本政策金融公庫松江、まつくる

全国から選抜された12名の起業家が登壇

- | | | |
|-----|-------|-------|
| 1. | 北海道代表 | 川嶋 氏 |
| 2. | 北海道代表 | 小野島 氏 |
| 3. | 札幌代表 | 田中 氏 |
| 4. | 北海道代表 | 宮内 氏 |
| 5. | 仙台代表 | 高橋 氏 |
| 6. | 福島代表 | 赤澤 氏 |
| 7. | 群馬代表 | 柳 氏 |
| 8. | 千葉代表 | 金子 氏 |
| 9. | 千葉代表 | 小林 氏 |
| 10. | 山梨代表 | 高松 氏 |
| 11. | 三重代表 | 齋藤 氏 |
| 12. | 松江代表 | 中尾 氏 |



市長賞



頭取賞

松江市長も参加



松江代表:中尾氏
【(株)ストラテジーAI】
がグランプリ受賞



5-2. 「お客さまとの共通価値創造」に向けた取組について

- 過去4回の「ちいクラ」でプレゼンいただいた起業家プレゼンターの皆さまは、「ちいクラ」をきっかけに新会社の設立や事業の拡大等に繋がっており、それらの活動を当行も一体となって支援。
- 今後も、「ちいクラ」の継続やその後の支援などを通じて、山陰の起業家を応援していく。

【起業家プレゼンターの皆さまのその後の活躍(一例)】



元廣惇さん・(株)Canvas
→ 2023/8に開催した第1回で、
健康経営支援コンサルティング事業についてプレゼン

＜システム画像のイメージ＞



当社の支援を受ける事業者様が、健康と経営の
関連を理解したり、従業員の身体機能やパフォー
マンスをモニタリング出来るツールを開発！
当行も開発資金を協調融資するなどして支援！



久谷 香織さん
→2024/8に開催した第3回で、
高校生向けの食事付下宿事業
についてプレゼン

＜くや下宿の外観＞



2025/4に高校生向けの食事付
下宿「くや下宿」をオープン！